

総合的な時間 学習指導案

奈良市立伏見小学校

教諭 梁川 千尋

教諭 尾崎 ひとみ

1. 単元名 世界遺産のある奈良に住んでいる私たち～古都奈良の文化財の魅力～

2. 単元目標

- ・未来に遺したい『世界遺産』の魅力进行调查し、考える活動を通して、大切な文化財であることを理解する。
(知識及び技能)
- ・調べたことをタブレットのスライドにまとめ、聞き手に分かりやすく表現する。
(思考・判断・表現)
- ・世界遺産のある奈良に住んでいることに誇りを持ち、今後自分が積極的に調べた遺産の良さを発信する意欲と態度を持つ。
(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材について

1学期より教材「奈良大好き世界遺産学習」を使用して、奈良市の世界遺産について学習を始めた。夏休みに自分の興味のある世界遺産の場所へ出向き、知識を広げ、世界遺産新聞作成をした。本単元では、自分たちの身近な『古都奈良の文化財』の魅力を考え、1300年もの時を経て、現在も大切にされ続けているという価値の大きさに気づき、世界遺産を守り伝える当事者になる意識を育てられる教材である。タブレットのスライドにまとめ、発表する機会を設けることで、世界遺産のある奈良に住んでいることに誇りを持ち、文化財の良さを発信する意欲と態度を高めたい。

(2) 児童について

本学年の児童は、調べ学習は積極的に取り組む児童が多く、多くの情報量を収集することには抵抗はない。しかし、多くの情報から、必要な情報を取り上げ、自分の言葉で伝える文章に変えることは、苦手意識を持つ児童が多い。そこで、この単元を設定し、学習を進めていく中で、世界遺産を守り伝える当事者としての意識を高めるとともに、分かりやすく伝える方法の大切さに気づかせたい。

(3) 指導について

1学期からの学習で世界遺産について取り組んでいるので、導入部分では、自分たちの身近な『古都奈良の文化財』の魅力について考える。子どもたちからは、「世界からも多くの観光客が訪れる。」や「今も変わらない価値が多くある。」などの発言が期待される。子ども達に魅力についての考えを持たせ、調べ学習に入る。世界遺産に選ばれた理由や1300年前から現在まで建造物が残っている理由に目を向けさせ、文化財が大切に守り伝えてきたことの素晴らしさを理解させたい。そして、自分事として世界遺産ある奈良に住んでいることに誇りを持ち、発信する力を育ませたい。

(4) ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

多様性…古都奈良の文化財は8つの遺産で構成されており、それぞれの文化の特質が評価されていること。

相互性…古都奈良の文化財は、今日に至るまで大切に守り伝えられてきており、次世代にまでつなげ

ていくことが大切であること。

・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

未来像を予測して計画を立てる力

身近な地域に誇りをもち、今後自分が積極的に地域と関わりながら文化を尊重し、よりよく生きようとする意欲と態度を持つ。

コミュニケーションを行う力

調べたことを効果的な方法でまとめ、発表し合うことで、分かりやすい伝える力をつける。

・本学習を通して育てたい ESD の価値観

人権・文化を尊重する。(文化多様性の尊重)

身近な地域に誇りを持ち、今後自分が積極的に地域と関わりながら文化を尊重し、よりよく生きようとする意欲と態度を持つ。

・達成が期待される SDG s

11 住み続けられるまちづくりを

4.評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に取り組む態度
① 奈良市には、構成遺産が8か所あり、それぞれに魅力があることを理解している。 ②各グループで調べたり、まとめたりしている。	① 8か所の構成遺産の中から文化財を一つ選び、グループでのテーマに沿ってタブレットで表現している。 ②テーマの中でこれからも受け継いでいくには何ができるのかを考え、表現している。	①単元を通して、関心を持ち、意欲的に調べたり考えたりしている。 ②古都奈良の文化財の魅力に気づき、自分事として守っていかうとしている。

5.単元計画 (16時間)

次	主な学習活動	学習への支援	評価
一次 み つ め る	① 奈良県には世界遺産の数が多く、中でも奈良市には構成遺産が8か所あることを理解する。 ②古都奈良の文化財の魅力について考え、学習問題を設定する。	・世界遺産についてクイズや写真を使用して関心を持たせる。 ・夏休みを利用して、世界遺産である現地に行ったり、調べたりして身近にある大切なものに気づかせる。	【ウ①】
自分たちの身近な『古都奈良の文化財』の魅力ってなんだろう			

<p>二次 し ら べ る</p>	<p>③ 8か所の文化財の中から一つ選び、その文化財について調べる。</p> <p>④ 8グループに分かれて自分たちの調べたことをそれぞれに出し合い、共通のテーマを考える。</p> <p>⑤ テーマが決定次第、それに沿ってその文化財の魅力を調べる。</p> <p>⑥ スライドにする内容をそれぞれ調べたことを元に話し合い、スライド作りをする。</p>	<p>・選んだ文化財のどこに魅力を感じたのかを考える。</p> <p>・グループの中で調べた内容の共通点や差異点を考える。</p> <p>・話し合いで、グループでのテーマを見出す。</p>	<p>【ア①】 【イ①】</p> <p>【ア②】</p> <p>【イ①】</p>
<p>三次 ふ か め る</p>	<p>⑦ オンライン講座 「春日山原始林を未来へつなぐ会」の杉山先生の話聞き、春日山原始林についての理解を深める。</p> <p>⑧ 世界遺産現地学習 春日山原始林・春日大社・元興寺・興福寺の中で希望地に分かれて学習した後、全児童で東大寺の大仏殿を拝観する。</p> <p>⑨ スライドをグループで確認し合い、見やすさや分かりやすさを意識したスライド作りをする。</p>	<p>・春日山原始林についての理解を学年全体で行う。</p> <p>・現地学習で、調べたことや新たに知ったことについて考える。</p> <p>・スライド作りで、4年生が分かる原稿を考える。</p>	<p>【ア①】</p> <p>【ア①】</p> <p>【ア②】 【イ②】</p>
<p>四次 ひ ろ げ る</p>	<p>⑩ 自分たちの調べた古都奈良の文化財の魅力について4年生に発表する。</p> <p>⑪ 大牟田市の小学校の5年生と交流発表を行う。</p> <p>⑫ 地域にも目を向け、どのように文化財と共存していけばいいのかを考える。</p> <p>⑬ 伏見遺産として個人でスライドにまとめる。</p>	<p>・スライドだけでなく、発表する時の話し方や目線についても考える。</p> <p>・奈良の文化財の魅力を伝え、県外の魅力を知る。</p> <p>・古都奈良の文化財を受け継いでいくことを自分事として、伏見の地区で自分が次世代にも残したいもの、また紹介したいものを考える。</p> <p>・古都奈良の文化財についてスライドを作ったことを生かして、作成する。</p>	<p>【イ②】 【ウ①】 【ウ②】</p> <p>【イ②】 【ウ②】</p>